

審判・T O・ベンチマナーについてのお願い

栃木県ミニバスケットボール連盟審判部

1 審判について

- (1) 審判着をきちんと身に付けましょう。
- (2) スムーズな運営のため、試合開始・ハーフタイムの時間など、きちんと守りましょう。
- (3) 帯同審判は、自チームの試合が終わった後の試合を担当します。**1試合目の審判は、2試合目のチームの帯同審判が担当**します。
- (4) やむを得ない理由がない限り、**登録された帯同審判の方が試合を担当**してください。体調不良、仕事、その他のやむを得ない理由で帯同審判を用意できないときには、チームで代替りの審判を用意してください。その際には、**県の審判部に速やかに連絡**をお願いします。また、代替りの審判を用意できない場合にも速やかに県の審判部に連絡をお願いします。
- (5) 試合が遅れた時には、次の試合まで10分間を計ってください。試合が終了したら、T Oのデジタルタイマーを動かしてください。
- (6) チームには、公認資格を持った審判員がいることが望ましいです。帯同審判の方は選手のために、審判講習会等に参加するなど審判技術の向上に努めましょう。

2 T Oについて

- (1) **1試合目のT Oは、3試合目の若番のチーム**が担当します。4チームでのトーナメントの日（最終日）は、2試合目の若番のチームが担当します。
※この場合、アップ時間確保のため試合間をあけます。2試合目からは、負けチームが担当します。
- (2) T Oは子どもたちだけではなく、**必ずチームの指導者または保護者の方（ルールの方か）がT O席の後ろについて指示を与えてあげてください。**子どもたちだけでは対応が困難なことの多い場所です。

3 ベンチマナーについて

- (1) メンバー表を5分前までに、T O席（1Q出場5人に○）と相手チームに提出してください。
- (2) メンバー登録・確認は、1・3Qは開始1分前、2・4Qは前のクォーター終了後すぐに行います。
※**4Qが3Qと同じでも必ず並ばせてください。**
- (3) タイムアウトの時は、汗や飲み物などをこぼさないため選手をコートから出しましょう。
- (4) 立って指示できるのはコーチかA・コーチのどちらか1人だけで、ベンチの幅のみ移動が可能です。
- (5) 指導者・保護者の方々は、あくまでも小学生の試合であることを肝に命じ、教育的な配慮をもって試合を行ってください。審判や自分のチームの子どもたち、T Oの子どもたちに対しての**悪言はやめましょう。また、暴力的行為は、どんな場合でも厳に慎んでください。**
会場・審判主任等の指示に従っていただけない場合には、連盟として毅然とした態度（指導者の退場や大会参加停止の処分等）で臨みます。
- (6) 指導者はベンチ内外の応援についても十分な配慮をお願いします。ベンチ内での鳴り物（足を踏み鳴らす、うちわでたたくなど）やフリースローをする時の妨害（「リバウンド」のかけ声）、相手をけなす言動（「ナイスファウル」などのかけ声）などはやめてください。また、応援席でも公共物の器物破損のないように、また節度ある応援となるようにお願いします。

4 大会不参加における審判・T Oについて

- (1) 大会1日目は参加ができなくなっても**帯同審判を必ず出して**ください。T Oについては**対戦することになっていたチームが担当**してください。
- (2) 2日目、最終日は、帯同審判の必要はありません。T Oも連盟役員・審判で担当します。
※急遽不参加となる場合には、速やかに地区役員を通して県（総務・審判）に連絡をお願いします。

5 ゾーンディフェンス禁止について

今年8月の関東理事会において、平成28年1月に行われる茨城県での関東大会には「マンツーマンを行うチームを推薦する。」ことが確認されております。それを受けて、栃木県においては**今大会からゾーン禁止とします。8月にJ B Aから「マンツーマンディフェンスの推進について」という資料と映像が出されているのでそちらも参照してください。**

なお、今大会からマンツーマン・コミッショナーをつけます。初日は役員で、2日目以降も連盟の割り当て審判員で担当します。判断の基準がまだ曖昧であること、罰則（テクニカル、コーチ資格停止…）を本当に行うのかという部分もありますが、そのような罰則の対象の事例のないように、マンツーマンで試合を行いましょう。今大会において、マンツーマン・コミッショナーが特に重点的に見るのは以下の通りです。

- ・各選手のマッチアップがしっかりとできているか。マンツーマンの意識があるか。
- ・ゾーンプレスをしていないか。（オンボールのダブルチームは○だが、破られてもすぐにダブルチームに行くのは×。破られてもマッチアップし直してからのダブルチームは○。オールコートやスリークォーターのマンツーマンは○）
- ・オフボールの選手へのダブルチーム（スローインの際も）は×。パスが入った瞬間にダブルチームするのは○。

いろいろな疑問やトラブルがあることが予想されますが、ゾーンディフェンスが禁止になるのはなぜかということ（ミニの世代では1対1の力、基本的な技術・技能、思考・判断の習得が大切なこと、目先の勝利にとらわれずに世界で戦える選手を育てるためなど）を考えていただき、ご理解ご協力をお願いいたします。

6 その他

- ・メンバー登録や変更の受付締切に気を付けましょう。**背番号が間違っていたり、登録外の選手がいたりすると、その選手は出場できない場合があります。**
- ・**12面のボールの使用はしないこととします。従来の8面のボールを用意してください。**

【連絡先】県ミニ連審判長 伊東龍一 royoichi.0221-precious@docomo.ne.jp